

## 民間委託訓練におけるデジタル人材の育成について

技術専門学院で実施する職業訓練のメニューを補い、離転職者向けにデジタル人材の育成を強化するため、民間教育訓練機関を活用した「委託訓練」を拡充する。

### IT実践科（Webプログラミングコース） 【訓練期間 6 ヶ月】

訓練ニーズ調査結果より、約 75%の事業所が将来を含めデジタル人材の不足感を感じていること、また、約 3 割の求職者がプログラミングに興味があることがうかがえる。

#### 【デジタル人材の過不足感 / 事業者（全事業所）】

「十分足りている」 + 「やや足りている」 23.1%

「やや不足している」 + 「かなり不足している」 49.7%

「今後は不足しそうだ」 25.0%

#### 【あれば受けてみたいコース / 求職者】

「DX・IT 関連技術の使い方（プログラミング）」 31.3%（最も高い）

「DX・IT 関連技術の作り方（ソフトウェア）」 24.9%

このため、R4 年度から、次のように改善する方向で検討する。

#### 【現状】

- ・富山地区 20 名×1 コース



#### 【改善策】

- ・ 3 コース 55 名に増やす。（富山地区 20 名×2 コース、高岡地区 15 名×1 コース）

※訓練生全員が IT スキル標準レベル 1 以上を目指すコースとする。

目標資格「情報処理技術者試験（基本情報技術者）」(IT スキル標準レベル 2)

「ORACLE 認定 Java プログラマ Bronze/Silver」(IT スキル標準レベル 0/1)

「Web クリエイター能力認定試験 エキスパート」

## 委託訓練カリキュラム

訓練科名	IT技術者養成科		就職先の職務	Webプログラマ、ソフトウェア技術開発者(Web・オープン系)、社内システム管理者、高度な情報処理技術を使用する様々な職種	
訓練期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (6か月)				
訓練目標	①Webプログラミング技術を習得する。 ②サーバー運用技術を習得する。 ③社会人基礎力の養成 ④国家資格「基本情報処理技術者」取得				
仕上がり像	WEBプログラマ、社内IT技術者、県内に集積するデータセンター等で活躍できる人材				
訓練の内容	科目	科目の内容		時間	
	学 科	入所式等	入所式、修了式、オリエンテーション、各種手続き		
		システム概論	システムの構成と役割、モデリング手法とUML、設計概論、プログラミング手法、テスト計画		45時間
		基本情報処理技術	基本情報処理技術者対策、情報システムの構成、情報システムのライフサイクル、保守の要因と種類、安全対策の検討範囲等、システム構成の確認等		90時間
		社会人基礎力	多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎能力をグループワークを通して育成する。(コミュニケーション力、協働力、パソコン基礎力等)		30時間
		就職支援	求人情報の提供、キャリア・コンサルティング、履歴書等の作成支援、面接指導、職場体験、HW・機構との連携支援等		60時間
		安全衛生	VDT作業と安全衛生		3時間
	実 技	プログラミング演習	開発環境の導入と基本設定、コーディング規約に沿ったコード作成 (使用言語:Java、javascript、VBA)		108時間
		Webプログラミング演習	Webサイト構築(HTML)、Webページプログラミング、データベース連携(SQL)、サーバーサイドプログラミング、JSP、サーブレット(使用言語 Java、SQL)		144時間
		サーバー構築演習	Webサーバ(Apache)、DBサーバーの作成・運用、Linuxコマンド操作、SQL基本コマンド、データベース構築、DBサーバー操作(オラクル、SQL)、ネットワーク概論、ネットワークサービスとプロトコル演習課題:ショッピングサイト作成<要求分析、設計、開発、テスト、仕様変更>クライアント層:HTML、javascript WEB層:JSP・サーブレット DB層:オラクルにて構築したサイトをサーバー上作成する。		120時間
訓練時間総合計	学科	228時間	実技	372時間	600時間
主要な機器設備 (参考)	パソコン一式(Windows7)、プロジェクタ、レーザープリンタ、サーバー(Windows2013server、Linux)				